



胃拡張捻転症候群ってなに?

どんな
病気?

何らかの原因で胃が拡張してねじれる緊急性の高い病気。
発症メカニズムがよくわかっていませんが、勢よく飲み食いして空気をたくさん飲みこんだ直後に、
激しい運動をすると起こりやすいといわれています。一般的に「胃捻転」ともいわれています。

おもな
症状

おなかの膨張や
吐き気が急に起こります。

- おなかがパンパンにふくらむ
(30分から1時間ほどでパンパンに)
- ヨダレが多くなる
- 吐こうとするが吐けない
- 気持ち悪そうに
ぐったりする など



なりやすい犬

胃捻転しやすい
大型犬

グレート・デーンやセント・バーナード、ジャーマン・
シェパード・ドッグ、ボルゾイ、ワイマラナー、レトリ-
バー種など、大型で胸の深い犬種に多く見られます。

胃拡張しやすい
ミニチュア・
ダックスフンド

胃のねじれが伴わず、胃拡張のみが起こりやすいの
がシニアのミニチュア・ダックスフンドです。胃腸の動
きが弱い、肺炎を起こしているなど、ほかの要因が関
連しているようです。

胃拡張のみでも命にかかわる!

胃にガスがたまってどんどんふくらむ胃拡張は、その状態が長時間続けば死
に至ることも。大きくなった胃が胸郭を圧迫して呼吸が苦しくなったり、血管
が圧迫されて血流が悪くなったりして全身状態が悪化します。

注意したい犬
短頭種

口や鼻の構造上、呑気(空気を口から大量に飲みこ
むこと)しやすいことや、胃腸の動きが悪いケースがよ
く見られることから、胃拡張を起こすリスクが高いと
考えられます。

この病気は
緊急疾患です。
以下の症状があれば
すぐに受診を!!

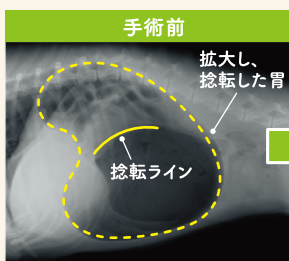
おもな
治療

早急な整復手術が必須。
予防措置もあわせて行います。

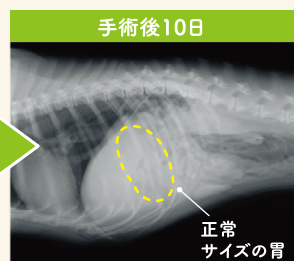
飼い主さんへの問診の他、身体検査やエックス線検査を迅速に行い診断しま
す。拡張した胃に臓器や血管が圧迫され続ける時間が長いほど、血流が滞って
臓器が壊死するなど、体へのダメージが大きくなります。できるだけ早く胃の中
のガスを抜き、外科手術でねじれを元に戻す必要があります。また、この病気は
再発率が高いとされています。そのため、再発予防の措置として、胃を糸で腹壁
に縫い留めて固定する、胃腹壁固定術も同時に行うのが一般的です。

たとえば 胃捻転している場合

注射針を胃に刺して中のガスを抜き、減圧します。次に開腹し、胃のねじれを
元に戻します。血流が滞ったことで胃の一部や脾臓が壊死していれば、切除す
るなど状況に応じた処置も行います。最後に、口から胃の中にチューブを入
れ、内容物をすべて排出します。



エックス線画像にねじれた箇所が線状に
あらわれている(捻転ライン)ことから、捻
転していると判断できます



経過もよく、胃は通常のサイズに戻まし
た。手術前の画像と比較すると、胃がどれ
ほどふくらんでいたのか驚くほど!

① 術後に急変するリスクもあります

処置によって、滞っていた血の流れが元に戻ることで、不整脈や血栓症な
どが引き起こされることも。術後48時間は、慎重な経過観察が必要です。

予防法

ゴハンや水を一気に飲み食いした直後に、激しい運動をすると発症リスクが高くなるといわれています。そのため、早食い防止の工夫
がされたフードボウルを使う、水を少量ずつ与える、食後数時間は激しい運動を控えるなど生活習慣の見直しが予防につながります。



いぬに多い病気、そこが知りたい! は「いぬのきもち」で連載中!

●こちらは、掲載した記事を再編集したものです。

アニコム損保ご契約者が
マイページから定期購読を申込むと
2号(2ヶ月分)無料!!